

9月22日：出来高が減少するも、VN指数は反発

VN指数は直近2日下げ続けていたが、本日は上昇した。しかし出来高は大きく減少した。

ホーチミン市場のVN指数は0.81%（10.84ポイント）高の1,350.68ポイントで取引を終えた。同指数は直近2日間売られており、0.9%（13ポイント）近く下げ続けていた。

騰落別では307銘柄が上昇、104銘柄が下落した。

しかし出来高は前日比で18.8%減少し、売買高が約7億8,000万株、売買代金が約19兆ドンとなった。

大型株が買われたことでVN指数は上昇した。VN30指数は0.48%（7ポイント）高の1,453.22ポイントでこの日の取引を終えた。同指数採用銘柄のうち、18銘柄が上昇、10銘柄が下落、2銘柄は変わらずだった。

しかし投資情報サイトのndh.vnによると、VN30指数の出来高はホーチミン市場の全体の36%を占めるのみで、出来高は2020年9月14日以来の最も低い水準となった。

VN30指数採用銘柄の中でもビナミルク（VNM）は3.04%上昇し、インデックスをけん引した。ベトコムバンク（VCB）、マサングループ（MSN）、バオベトホールディングス（BVH）はそれに続いた。それぞれ1.5%を超える上昇となった。

不動産銘柄の買戻しもマーケットの上昇を支えた。ビンググループ（VIC）、ビンホームズ（VHM）、ビンコムリテール（VRE）のビンググループ関連銘柄、ノブランド不動産投資グループ（NVL）はそれぞれ0.1～0.65%上昇した。

その反面、銀行株は引き続き売られた。中でもベトナム国際銀行（VIB）は1.77%安の終値38,800ドンと株価の軟調が目立った。

ハノイ市場のHNX指数も小幅に上昇した。

終値は1.24%（4.45ポイント）高の363.43ポイントだった。

売買高は1億9,750万株を超え、売買代金は約4兆ドンとなった。

一方で外国人投資家は引き続きマーケットで売り越した。売り越し額は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で合わせて2,440億1,000万ドンとなった。そのうちホーチミン市場で2,011億ドン、ハノイ市場で429億1,000万ドンがそれぞれ売り越された。

本日のベトナム株の反発は、中国の不動産大手である中国恒大集団のデフォルト懸念が後退したことにより世界的に株高だったことも作用した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。